

## ヴィラポン・シソンバン 研究員（ラオス）

私は、1998年よりラオス・厚生労働省社会福祉局国家防災事務所の訓練担当課長として、防災トレーニング活動に従事しています。1993年に創設された事務所は、災害救援・軽減活動に積極的に取り組んでいます。私の所属する局は、NGOと連携して、災害に脆弱な地域での救援・軽減プロジェクトを実施しています。国家防災事務所は、国家防災委員会の事務局として1999年に設立され、災害への備え、軽減、対応、防止といったコミュニティレベルでの意識向上と教育活動が主な活動となっています。



これまでの業績の一つを紹介いたしますと、中央・地方・コミュニティの政府関係者への防災トレーニングコースを行いました。また、ラオスにある他の機関と協力し、中央・地方レベルで、教員や警察官、軍隊を対象としたトレーニングプログラムも行いました。

ADRCの客員研究員として7月に来日し、現在ADRCで勤務しています。今年の12月までここに滞在する予定で、日本の防災システムについて学ぶいい機会になると思います。また、このチャンスを生かして、ラオスに関する情報をADRCのスタッフと共有し、意見を交換できれば幸いです。